



道産材の強度性能を活かした道産CLT（直交集成板）の開発 ～道産材を用いたCLTの道内製造の開始～



背景

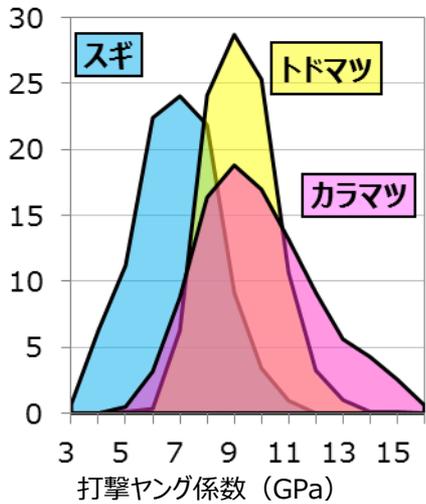
- CLTは、中高層木造建築を可能にする、全く新しい木質材料です。
- 道産カラマツ・トドマツによるCLT製造が期待されていますが、実用化には製造技術の確立と性能データの整備が必要です。
- さらに、新材料に適した接合方法の開発も必要です。

成果

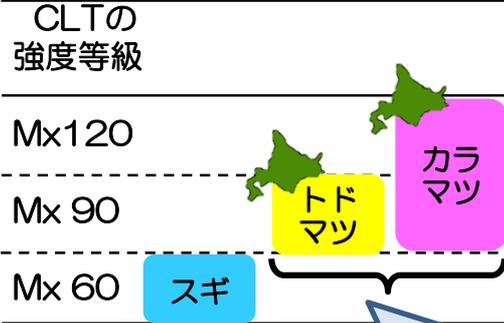
- 1** 道産CLTの高い材料性能を明らかにしました。
道産材に適した接着積層技術を確立しました。

- 2** 接合部データを幅広く収集し、接合方法の選択肢を拡げました。

割合(%) 木材の強さの比較



道産材の強さをCLTに活かす



大きいほど強い！

道産材で本州産スギより強いCLTが製造可能

活用

- 道産カラマツCLT製造工場がJAS認定を取得し、道内完結型の生産が可能になりました。
- 接合方法の選択肢が増え、多様なCLT建築物の設計・建設が可能になりました。



◆鋼板添え板ビス接合

- プレカットの手間が少ない
- 施工がシンプル



◆引きボルト接合 **New!**

- 接合の強さが大きい
- 金物が隠れて美観が良い

